

第112号

進学特集

藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 涉外課広報担当/Tel 054-635-8155/Fax 054-635-8494/Email meisei@fgmeisei.ed.jp/URL https://www.fgmeisei.ed.jp

浜松医科大(医) 旭川医科大(医) 名大・北大など 関門突破! 静大14・静岡県立大17合格!



**国公立96名早稲田・東京理科・G
MARCH 関関立・私立医学部67名**

学習院大学
明治大学
青山学院大学
立教大学
中央大学
法政大学

中1の時、「医学部に合格したい。」と明誠ニュースに書きました。そこから6年、医学部合格をこの場で報告できることがとても嬉しいです。支えてくれた先生方、家族、友達にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

受験を終え、私から在校生の方々に伝えたいたことは、「周りよりも早く受験モードに入ろう」です。誤解を恐れずに言うなら、進学する大学の偏差値は高2終了時の偏差値で決まります。理由としては、高3になれば全員が頑張りはじめてしまうからです。「え、あいつが?」という友達でも勉強し始めます。この状況で周りと差をつけるのはほぼ不可能だと感じました。だから、時間がまだたっぷりある下級生の方々には今1日でも早く始めれば、合格可能性は大きくなります。

ただ、勘違いして欲しいのは「受験本番のための勉強をしろ」と言っているわけではないのです。少し点数をかせぐための勉強（解法暗記、計算のテクニック、共通対策本など）は高3の後半から始めれば十分。そんなことよりも、授業をしっかり聞いて、基礎を固める方が効果的です。特に数学は、高3になっ

た時に基礎ができるないところも手遅れです。逆に、高3の授業で応用力は身につくので、「応用問題に

た時に基礎ができるないところも手遅れです。逆に、

とはそれだけ辛い期間も長くなることを意味します。

「もう勉強したくなぁー！」

と思うことが何度もあります。（本番に近づくにつれ爆発的に増えます）。そ

んな時にいつも考えていたのは、「今、勉強することに意味がある」でした。ど

うのも、勉強は力を入れる時期を間違えると何の意味もなくなるからです。行きたくもない大学に進むし

てやりたくない職業に就いた後で必死に勉強しても、受験生の時に勉強することで得られるリターンの半分も得られません。特に医学部に限って話すなら、他の学部に行くと、どれだけ優秀でも医師国家試験の受験資格すらありません。



01 合格体験記

今、勉強することに意味がある

島田 竜之介 (藤枝明誠中学校)

浜松医科大学医学部 進学

なると解けなくなっちゃう」という人は焦らなくとも大丈夫です。（私もそうでした。）

最後に、上の文章を読んで今日から頑張ろうと思ってくれた方へ、明誠の恵まれた環境を利用しましょう。図書室は放課後に自習室として使えます。職員室に行けば、先生方は質問に答えたり、解答の添削をしてくださります。他にも、難関大講座や医歯薬講座には自身とてもお世話になりました。自分にやる気があれば、明誠の先生方は100%応えてくれます。頑張ってください。

